

ユニット名	島大すみれ食堂
代表者	佐藤一喜
達成に資するSDGs目標	1. 貧困をなくそう 2. 飢餓をゼロに 3. すべての人に健康と福祉を 11. 住み続けられるまちづくりを 12. つくる責任つかう責任 17. パートナリーシップで目標を達成しよう
活動概要	1. 地域の子ども食堂における運営支援(通年) 地域に根差した子ども食堂に積極的に参画し、食事提供・居場所づくりのサポートを通じて、地域社会の課題解決に貢献します。 ■ 定期的に参加する子ども食堂 ・キッズキッチン城北(城北公民館):調理・配膳・イベント運営支援(通年) ・城東すくすく食堂(城東公民館):調理・配膳・イベント運営支援・遊びの時間企画(通年) ・子どもご縁食堂(殿町ギャラリー):調理・配膳・運営補助(通年) ・松江市内の各子ども食堂:要請に応じて調理・運営支援に柔軟に対応(通年) 2. 大学生の強みを活かした独自の取り組み(通年) 食事提供にとどまらず、子どもたちとの交流を深めた多角的な支援を展開します。 ・イベントの企画・開催:夏祭り・クリスマス会などの季節行事や、子どもたちが楽しめるレクリエーションを企画・実施します。 ・リユース市の開催:子ども服・おもちゃ等の不用品を回収し必要な家庭へ届けることで、資源の有効活用と家計支援に貢献します。 ・学習支援活動:食事前後の時間を活用し、宿題や苦手科目のサポートを行います。 3. 地域社会・学内における啓発・連携活動 子ども食堂の認知度向上と支援の輪を広げるための活動を行います。 ・広報・啓発活動:Instagram等のSNSを活用し、活動の意義や日常の様子をリアルタイムで発信します。 ・島根大学浜風祭への参加:子ども向け企画を実施し、学内外の多くの人々に活動を知ってもらう機会を創出します(2026年10月)。

ユニット名	島大すみれ食堂
主な連携先 (予定を含む)	・キッズキッチン城北 ・城東すくすく食堂 ・子どもご縁食堂 ・乃木子ども食堂 ・松江市社会福祉協議会 ・株式会社メディアスコープ
成果物の公表予定、 社会への波及効果	【成果物の公表予定】 ・SNSによるリアルタイムな情報発信(通年) Instagram等のSNSを活用し、日々の活動の様子、イベントの告知・報告、子どもたちの笑顔などを継続的に発信します。写真や動画を積極的に活用することで、活動の魅力を分かりやすく伝えます。 【社会への波及効果】 SDGsの理念に基づき、「食事+α」の価値を創出することで、以下の社会的効果をもたらします。 ■ SDGs 1・2・3(貧困をなくそう・飢餓をゼロに・すべての人に健康と福祉を) 栄養バランスの取れた温かい食事を安価または無料で提供することで、子どもの健全な発育を栄養面から支えます。特に経済的に困難な家庭の食費負担を軽減し、地域における食のセーフティネットとして機能します。これにより、すべての子どもが心身ともに健康に成長できる環境づくりに貢献します。 ■ SDGs 11・17(住み続けられるまちづくりを・パートナーシップで目標を達成しよう) 学習支援・季節のイベント・リユース市などの「食事+α」の取り組みを通じ、子ども食堂を単なる食事の場から多世代が集う「地域交流拠点」へと進化させます。地域のつながりを再生し、子どもの孤立や孤独を防ぐことで、誰もが安心して住み続けられるまちづくりに直接貢献します。また、私たちの活動モデルが他の子ども食堂へも波及し、地域全体の支援の質を高めるパートナーシップの核となることを目指します。 ■ SDGs 12(つくる責任・つかう責任) 昨年度は大学祭での海ごみ企画や松江SDGsフェスティバルでの廃材楽器づくりを実施するなど、資源について考える取り組みを展開してきました。今年度もリサイクル工作等の体験型企画を継続するとともに、リユース市の開催を通じて不要な物品を必要な人へ届ける循環の仕組みを整備し、子どもたちに資源を大切にする意識を育みます。